

No.144



学院だより

2017
10



千代田KVA祭(ローズ祭)花びらアートの制作の様子

目次

- 東京家政学院大学 1~5 P
- 筑波学院大学 6~10 P
- 東京家政学院中学校・高等学校 .. 11~13 P
- 学校法人東京家政学院 14~18 P
- 社会のなかで、研究室紹介 19 P

発行 学校法人東京家政学院
〒102-8341 東京千代田区三番町22番地
Tel. 03-3262-2251(代表) Fax. 03-3262-2174
URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/>



東京家政学院大学

TOKYO KASEIGAKUIN UNIVERSITY

町田キャンパス

〒194-0292 東京都町田市相原町2600番地

TEL.042-782-9811(代表)

千代田三番町キャンパス

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地

TEL.03-3262-2257(代表)

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/>



第10回「大学は美味しい!!」フェアに参加

生活デザイン学科では、今年で5回目の参加となります『大学は美味しい!!』フェア(5月18日(木)～23日(火))の6日間の会期を無事終えることができました。

例年お馴染みになりました、料理部の考案したベーグル(トライベックカベール)の実演や、結季最中、夏蜜柑羊羹、夏柑葛餅(日影茶屋)の販売と商品化への経緯の紹介を行いました。

今年も、初日から卒業生や関係の方々が大勢来場され、毎日、何かの商品が完売となる盛況でした。昨年は販売を担当していた卒業生も、仕事帰りに立ち寄ってくれました。社会人となり、懐かしいと思いついていました。他大学の先生からも、例年の学生と教職員、企業の方々とのチームワーク良さを誉めていただきました。

今後も、大学での成果を様々な形で発信していきたいと思えます。



販売風景



結季最中、夏蜜柑羊羹、夏柑葛餅



ベーグル

「さがみはら環境まつり」に参加 生活デザイン学科

2017年6月18日(日)、ソレイユさがみ(イオン橋本6F)にて開催された「さがみはら環境まつり」に生活デザイン学科の2、3年生19名が参加しました。このイベントは、神奈川県相模原市のさがみはら環境まつり実行委員会と本学との地域連携活動の一環で、本学からの参加は昨年続き2回目でした。今年も、学生が先生となり、お子様を対象とした「身近な廃棄物を利用したもののづくり教室」を実施しました。内容は、①新聞紙を利用したお花のブローチづくり②アサリの貝殻を利用したストラップづくり③野菜の切れ端を利用したスタンプでポストカードづくりです。参加したお子様たちは皆、完成するとニコニコ笑顔になっていました。



新聞紙を利用したお花のブローチ作品

その他、自然循環型生分解性繊維のポリ乳酸繊維布を使用して学生が制作した農作業着の展示を行いました。

学生はイキイキとしていて、このイベントを通して地域の幅広い世代の方々と接することや他学年との共同作業により、通常の学内活動だけでは得られない教育効果があったことを実感しています。



先生となりものづくりを教える学生たち

子ども体験塾2017

7月22日(土)、児童学科を中心に児童学科と生活デザイン学科の教員と学生が企画・準備・運営した、第12回「子ども体験塾2017」(東京都教育委員会・町田市教育委員会、東京オリンピック・パラリンピック2020応援プログラム公認)が賑やかに開催され、近隣の子どもたち(幼児・小学生)約180名とその保護者の合計約300名が参加しました。

今年度は、①むししゃあむししゃあおむし表現遊び教室、②音楽で遊ぶ教室、③身近な自然体験教室、④世界にひとつ、私だけの絵本を作ろう!教室、⑤ふわりゆらり飛んでだけパラシユート製作教室、⑥たのしい英語教室、⑦夢中!熱中!さんすう教室、⑧てぶくる風船オバケのアート教室、⑨ポツチャ教室、⑩新聞紙フラワーブローチ製作教室、⑪お花のポップアップカードづくり教室、⑫和風をあげよう教室の全部で12の教室と、学生のアイディアが詰まったフリースペース「おまつりひろば」が、オープンしました。



「ポツチャ教室」でボールの距離を判定する様子



東京家政学院大学は
2020年東京オリンピック・
パラリンピックを
応援しています

た。また、高校生を対象とした「見学ツアー」も行われました。

参加親子と楽しい時間を共有することができ、大変有意義な経験となりました。

第2回 千代田KVA祭(ローズ祭)

昨年度から始まった千代田三番町キャンパスでの学園祭(ローズ祭)は、今年度は、6月18日(日)に行われました。

昨年の経験を踏まえ、実行委員会のメンバー達は、早くから企画・制作・立案に取り組み、準備してきました。

新たな試みとして、「アンダーグラフ」のライブ、移動車両お弁当販売、こだわり素材のお弁当・食品販売、ロビーを華やかに飾った花びらアート(インフィオラータ)

など外部からの参加を積極的に導入しました。午後になって雨が降り出し、来場者の数は最後伸びませんでしたでしたが、フィナーレを飾るビンゴ大会は、人気テーマパークチケットを巡って白熱の展開に



「世界にひとつ、私だけの絵本を作ろう教室」で作成された絵本



見事な正門の飾り付け

なり、大いに盛り上がりを見せました。



視座った実行委員メンバー

相原小学校6年生 職業調べ・体験

平成29年6月16日(金)、23日(金)の2日、相原小学校の6年生5名が町田キャンパスを訪れました。これは、子どもたちに仕事の厳しさや楽しさ、働くことの意義、社会のルールやマナーを学んでもらうこと、さらには地元の職場に愛着をもってもらうことを目的とするもので、小学校からの要請により実施しました。

1日目は、事務局から、本学の紹介と、大学とはどのような教育機関でどのような仕事を行っているのかの説明を行いました。2日目は、藤田先生、小口先生、原口先生に協力いただき、授業見学を

汗をかきましょう！



行いました。授業担当の先生方には、質疑応答時間をいただき、小学生からは、活発な質問がなされました。その後、図書館と生活文化博物館について、事務局から説明を受け終了となりました。

学長賞 争奪 KVA スポーツフェスタ2017

2017年6月27日(火)～7月13日(木)の17日間にわたって、学長賞争奪KVAスポーツフェスタ2017が開催されました。

本年度の参加学生は、バドミントン10チーム20名、バレーボール2チーム13名、ドッジボール4チーム40名、卓球8チーム16名の計93名(内教員1名)でした。エントリー期間を長くし多くの参加を呼びかけました。なお、スポーツフェスタは、6名の学生実行委員会がすべてのプログラムの大会運営等を行いました。



図書館で事務局からの説明を熱心に聞く小学生たち

熱中症の対策講座開催

5月30日(火) 町田キャンパス第三会議室で、保健管理センターの看護師による熱中症対策講座(保健指導)が行われました。

この講座は平成27年度から開催されており、クラブ活動の部長に参加を呼びかけ、お昼休みの短い時間でしたが、9団体33名が出席しました。

内容は、熱中症は屋外だけでなく室内でも発症すること、予防には生活習慣や体調管理が重要であること、またクラブ活動中の怪我や病気の際の緊急対応についてというものでした。



熱中症対策講座の様子

保護者会主催

「教育懇談会」

教育懇談会は平成24年度から実施しており、6年目となります。年に2回、春と秋に千代田三番町・町田キャンパスで同時開催し、単位修得状況や学生生活などについて、保護者が直接教員と個別相談をしており、教員との交流を図ることも目的のひとつです。

平成29年度は、第1回が6月3日(土)に開催され、参加者数は両キャンパスあわせて36名でした。第2回は10月ごろの予定です。日程が決まり次第お知らせします。

第54回 KVA祭開催

町田キャンパスでは、11月11日(土)・12日(日)においてKVA祭を開催します。

今年も学内から模擬店や様々な発表などによる参加が多く予定されています。また、12日(日)には、山崎育三郎さんのトーク&ライブが決定しており、前売り券は、10月22日(日)からライブラスにて発売です。そのほか、ステージライブ、キャラクターショーなども予定しています。詳細については、町田キャンパスKVA祭サイト、または、学生支援グループへお問い合わせください。(お問い合わせ先 TEL 042-782-9818(直通))

特別公開講座

平成29年度の特別公開講座を次のとおり、予定しております。

町田キャンパスでは、平成29年10月26日(木)午後1時から、英国園芸研究家、本学客員教授のケイ山田氏に「新しいことへの挑戦私とガーデンング」をご講演いただきます。

また、千代田三番町キャンパスでは、平成29年11月30日(木)午後1時から、内閣府消費者委員会委員、法政大学大学院政策創造研究科教授の樋口一清氏に「消費者のチカラで未来を拓く」をご講演いただきます。

なお、詳細につきましては、本学ホームページ等でお知らせいたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

学友会 七夕祭り飾付け

七夕飾りは、千代田三番町キャンパスの年中行事として学生に親しまれています。今年は、7月3日(月)～7月12日(水)の間、高さ5Mの竹を、1号館1階吹き抜けのロビーに飾りました。



短冊を結ぶ学生たち

今年、学生がお願いした短冊の総数は、過去最高の504枚！そのうちの約半数を「3欲しい(彼氏、単位・内定、お金)」が占め、学生の願い事が不変であることが再認識されました。みんなが楽しく参加できる七夕イベントは、大盛況のうちに終了しました。

図書館本館 絵本・視聴覚コーナーリニューアル!

町田キャンパス附属図書館1階に絵本コーナーと視聴覚コーナーが新設されました。絵本コーナーは、児童学科の先生方と棚や椅子の配色から考え、落ち着いた中にかわいらしさがあり、読み聞かせスペースとしても活用できます。所蔵絵本がまとめて配置され、児童学科の絵本研究会を中心に絵本の選書、展示を行っています。視聴覚コーナーは、ゆった



ラーニング commonsからのぞむ絵本コーナー

りくつろげる空間となり、今後新しいDVD資料の購入を進めてまいります。

卒業生からの寄贈資料の活用

生活文化博物館では、本学創立80周年を契機として、卒業生からいただいた学生時代の教科書やノート、課題で制作した作品など学院史とかわる資料を収集してきました。卒業生自ら、また、遺族の方から連絡をいただいたり、光塩会の会誌『光塩』に募集記事を掲載したこともありました。

こうした寄贈資料は、新収蔵品展や創立90周年記念展、今年度企画展「学び舎(教員からみる東京家政学院史)」にも列品しました。それぞれの資料からは、その時代を精一杯過ごしてきた学生たちの気持ちが伝わるのか、来館者にはいつも好評です。



寄贈資料を展示した平成29年度第2回企画展

学生当時の品々をお持ちの卒業生の皆さま、ぜひ、当館へご一報を！お待ちしております。

第29回 特別展「きもの、いとをかし」

生活文化博物館では、平成29年11月6日(月)から平成30年2月9日(金)までの約三か月間、第29回特別展「きもの、いとをかしー日本各地の伝統染織品と和服コレクション」を開催します。これは旧東京家政学院短期大学の和裁研究室が所

蔵していた和服類を一般公開するものです。これまでの洋裁研究室のオートクチュールドレス、手芸研究室のレース、刺繍に続き第4回の移管資料展となります。

展示は、人間国宝喜多川平朗氏の帯地や小宮康孝氏の着尺地などの作品をはじめ、日本各地の長着や帯地、着尺地などの伝統工芸品、絹糸、麻糸、綿糸の工程見本で構成しています。歴代の教員が収集してきた優品をご覧ください。



さまざまな名物裂(ぎれ)を貼り付けた屏風

情報処理センターPCサポートスタッフ

情報処理センターでは1日1時間、PC教室等に学生のアルバイトスタッフを配置して、学生向けの利用サポートを行っています。PCやプリンタの利用方法のほか、学生が個人的に使用しているスマートフォン等の端末に関する問い合わせも受け付けています。

学生スタッフは利用サポートのほか、職員の指導のもとでプリンタの紙詰まりの除去やPCのセットアップなどの業務を手伝っており、本人のスキルアップにもつながっています。



PC教室で質問を受け付けています

◆2018年度 東京家政学院大学 入試日程等

入試種別	日程	出願期間※1	試験日	合格発表日	入学手続締切日
A O 入試 (課題型・ 活動報告型)	Ⅱ期	10月 5日(木)～10月13日(金)	別に定められた 出願前の面談日	10月20日(金)	10月30日(月)
	Ⅲ期	10月24日(火)～10月31日(火)		11月 9日(木)	11月17日(金)
	Ⅳ期	12月12日(火)～12月15日(金)		12月20日(水)	12月26日(火)
推薦入試	Ⅰ期	10月19日(木)～10月26日(木) 窓口受付：10月27日(金)※2	11月 4日(土)	11月 9日(木)	11月17日(金)
	Ⅱ期	11月16日(木)～11月24日(金) 窓口受付：11月27日(月)※2	12月 2日(土)	12月 7日(木)	12月15日(金)
スカラシップ入試	—	12月 1日(金)～12月 8日(金) 窓口受付：12月11日(月)※3	12月16日(土)	12月20日(水)	12月26日(火)
一般入試	A方式 Ⅰ期	1月 9日(火)～1月17日(水) 窓口受付：1月18日(木)※3	1月27日(土) 1月28日(日)	2月 1日(木)	2月 9日(金)
	A方式 Ⅱ期	1月 9日(火)～1月24日(水) 窓口受付：1月25日(木)※3	2月 6日(火)	2月 9日(金)	2月20日(火)
	B方式	1月 9日(火)～2月28日(水) 窓口受付：3月 1日(木)※3	3月 8日(木)	3月 9日(金)	3月19日(月)
センター試験 利用入試	Ⅰ期	1月16日(火)～2月 1日(木) 窓口受付：2月 2日(金)※3	大学入試 センター試験 1月13日(土) 1月14日(日)	2月 9日(金)	2月20日(火)
	Ⅱ期	1月16日(火)～2月15日(木) 窓口受付：2月16日(金)※3		2月23日(金)	3月 5日(月)
	Ⅲ期	1月16日(火)～3月10日(土) 窓口受付：3月12日(月)※3		3月16日(金)	3月26日(月)
特別選抜試験 (社会人・ 海外帰国子女)	Ⅱ期	12月 5日(火)～12月14日(木)	1月 6日(土)	1月12日(金)	1月22日(月)
私費外国人 留学生試験	Ⅱ期	11月 8日(水)～11月24日(金) 窓口受付：上記期間中※4	1月 6日(土)	1月12日(金)	1月22日(月)
編入学試験 学士入学試験	Ⅱ期	12月 5日(火)～12月14日(木)	1月 6日(土)	1月12日(金)	1月22日(月)

※1 出願期間は、郵送での受付期間（最終日の消印有効）を表します。

※2 推薦入試の窓口受付は、町田キャンパス・入試広報グループ窓口に限ります。

※3 スカラシップ入試、一般入試、センター試験利用入試の窓口受付は、千代田三番町・町田の両キャンパスで行います。

※4 私費外国人留学生試験の窓口受付は、郵送出願期間中（土・日曜、祝日を除く）の町田キャンパス・入試広報グループ窓口に限ります。

★ 詳細は大学案内、学生募集要項をご参照ください。

◆オープンキャンパス日程

	千代田三番町キャンパス	町田キャンパス
10月	1日(日)	
11月		11日(土)、12日(日) KVA 祭同日に進学相談会として開催
12月	2日(土)	
3月	25日(日)	25日(日)

<お問い合わせ先>

東京家政学院大学

入試広報グループ

〒194-0292

東京都町田市相原町2600番地

TEL.042-782-9411

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/>

E-mail nyushi@kasei-gakuin.ac.jp



「デジタル・アーキビスト」の養成を開始

特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構が、学校法人東京家政学院をデジタル・アーキビスト資格養成機関として認定したことに伴い、資格取得のための講義、演習を筑波学院大学において実施することになりました。

デジタル・アーキビストとは、文化資料等のデジタル化についての知識と技能を持ち合わせ、文化活動の基礎としての著作権・プライバシーを理解し、総合的な文化情報の収集・管理・保護・活用・創造を担当できる資格であり、有形無形の歴史・文化遺産などを対象に、デジタル方式で記録し、データベース技術を用いて保存、蓄積し、ネットワーク技術を用いて活用する人たちのことです。

地球の不思議から地域社会の暮らしにいたるまであらゆる文化資源を記録し、誰もが楽しく学べるようにデザインし、提供するスキルを持ちその資質を磨きあげることで、人が集まる新しい博物館、図書館、観光施設、出版、放送、通信などの文化ビジネスで活躍するためのパスポートを得ることができます。

筑波学院大学が行うデジタル・アーキビストの養成の特徴は、文化資源のアーカイブとして記録と保存を行うことだけでなく、創造と活用を目的とした、未来志向のミュージアムを視野に入れたデジタルミュージアムとライブラリーの展開です。

養成カリキュラムの特徴としては、観光教育コンテンツの開発に挑戦する科目が配置されて

おり、文化やアートの分野で人と情報を縁結びし、コトを起こすことができる文化企業家の養成をめざしています。

担当の塚原正彦ビジネスデザイン学科教授(日本地域資源学会会長)は、「未来志向のデジタル・アーキビストとは、生活者が地域や暮らしを見直し、それぞれの思いや生き様をアーカイブし、それを物語化することで、生活者の一人ひとりが夢や学びへの一歩をふみだすように働きかけができる学習デザイナーです。例えば、図書館や博物館を親しみやすく、楽しい場に変える人材、歴史や文化、音楽、美術などの文化資源をデジタル化し、さらに物語化することで、絵本や動画を創作する人材、また文化交流による学びを主役にした新しい観光コンテンツを創造できる人材です」と語っています。

厦門大学嘉庚学院と連携協定を締結

平成29年3月に、中国福建省の厦門大学嘉庚学院と共同研究、教員交流、学生交流全般にわたる協定を締結し、6月末に教員の派遣を開始しました。

協定の調印式は、3月29日(水)に筑波学院大学 大島慎子学長と厦門大学嘉庚学院 王瑞芳院長により行われ、教員、研究者、職員の交流と教育研究の協力、学生の交流および単位互換や学位の相互認定、および情報、資料の交換、共同研究会の実施など多岐にわたります。

厦門大学嘉庚学院は、1921年に創立された国立厦門大学が2003年に設立した附属大学で

あり、学生総数約2万人の全寮制で日本語学科を有し、日本研究も盛んです。

本学は、「つくば市をキャンパスに」という教育方針で、学生が教室における講義だけでなく、自ら地域の企業や自治体で社会参加して課題にとりくむオフ・キャンパス・プログラムが1、2年次の必修授業であり、3年次では海外短期研修を奨励しています。現在、台湾、韓国、オーストラリアに学生を送っており、新たに中国の大学にも研修先が加わることとなります。



連携協定調印式

この協定は、昨年の秋に、厦門大学嘉庚学院の王瑞芳院長が筑波学院大学を訪問し、日本との交流や日本企業への勤務を希望する日本語学科の学生に対して、職業教育としてICT関連の技術を習得する講座を開講するために日本か

らの教員派遣を要請したことに対して、本学が積極的に協力する姿勢を示したものです。

このたびの協定に基づき、6月29日(木)から7月3日(月)に掛けて、高藤清美教授が派遣され、日本語学科ITコースの学生に対しシステム設計・システム開発に関する集中講義を実施しました。教員派遣については、今後、継続的に実施し、両大学の教育研究交流を深めていく計画です。更に、学生の短期交換留学を開始する予定です。

中華大学短期研修を実施

交流協定校である台湾の中華大学の学生11名が、7月4日(火)から7月11日(火)の8日間にわたり本学にて研修を行いました。

今回来日した研修生は、日本語を専攻している学生が中心でした。研修内容は、本学学生との交流授業、日本文化の理解のために「かるた」の紹介・体験、「華道」・「茶道」の実習をとおした体験、イラストレーターのソフトを使っただけの中見舞いの作成の他、週末には本学学生と一緒に東京都内のグループ研修を行いました。研修期間中、本学の学生たちは、放課後に歓迎会を開催したり、大学周辺を案内したりと



日本語が得意でない人もわかるように「キャラクターかるた」を使って体験しました

研修生との交流を深めました。研修を終えた中華大学の学生からは、「帰りたいくない」「冬に筑波学院大学生が中華大学に研修に来られた時には台湾を案内するので、是非来てほしい」などの声がありました。

次の両大学の交流は、12月に舞台を台湾中華大学に移して行われます。これからも両大学の交流が盛んになるよう学生の活躍に期待しています。



開講式

学生食堂にフランス家庭料理を導入

筑波学院大学は、平成29年度から学生食堂を地域に公開し、地域の老舗フランス家庭料理店「カフェ・ド・グルマン」と提携し、地産地消型で手作りによるバランスの良い家庭料理を学生に提供します。これは学生食堂を地域市民の交流の場とし、地域のビジネスリーダーを育成する大学と

して、また、教室だけでなく学生が地域社会で活動する地域連携型の教育を行う大学として、学生の健康管理とともに、栄養バランスの良い食事を提供することが、教育の一環である、とする大学の方針によるものです。

本学は平成27年から、留学生や親元を離れて独立して生活する学生のために、1000円朝食を提供するなど、学生の生活支援を行ってきました。現在、朝食サービスは休止していますが、10月以後の再開を予定しています。



学食の内装も一新しました

新しい学生食堂は、通常の利用（学生や一般の方々のランチやディナーの提供）のほかに、コミュニティカレッジ受講生の利用や、コンサートや各種イベントの開催、他大学・他機関の懇親会やパ-

ティの開催なども見込まれます。

今後は、本学のみならず近隣大学や地域住民の方々の情報交換の場として、交通の利便性など立地条件の良さを生かした新たな機能を提供していく予定です。

グルマンとの連携の経緯

カフェ・ド・グルマンは、昭和53年（1978年）につくば市で開業し、約40年近い営業実績のある地元の飲食店であり、家庭的なフランス料理を提供してきています。今回の同店による学生食堂運営受託により、おいしい料理の提供を通して、学生生活の改善や食ビジネスの実体験、大学周辺の活性化、地元への貢献、さらに大学からの新しい食文化の発信が期待されます。

学長との対話集会開催

平成29年6月14日（水）に、学長との対話集会を開催しました。

当日は、学友会、クラブ連合会、KVA祭実行委員会から各代表者、及び希望する学生の計12名が出席し、学長との意見交換会が行われま



学長との対話集会の様子

した。学友会が実施したアンケートに基づき、授業、履修方法、施設設備、サークル活動にいたるまで様々な意見が出されるなど、有意義な対話集会でした。

学生の皆さんからの要望については、早急に対応し、検討や確認が必要な事項については改めて回答していくとともに、学生の意見を反映し、より充実した学生生活が送れるよう、取り組んでまいります。

国際大学対抗

プログラミングアジアつくば大会開催

平成29年12月16日（土）・17日（日）に開催される国際大学対抗プログラミングアジアつくば大会（日本大会）（ACM-ICPCアジア地区予選の1つ）のホスト校として、本学が、（公財）情報科学国際交流財団、茨城県、つくば市と共催することになりました。

ACM-ICPCとは、アメリカ合衆国で昭和22年に設立された計算機学会（Association for Computing Machinery）が主催する国際大学対抗プログラミングコンテスト（International Collegiate Programming Contest）であり、予選には約100ヶ国、約3,000の大学が参加します。コンテストは同じ大学の3名でチームを組み、プログラミングと問題解決を競うもので、世界大会には各大学から1チームしか参加できません。

地区予選はアジア各地で開催され、日本大会はその1つです。日本での開催は今回で第20回目を迎え、ACM-ICPCの世界大会への出場権をかけて、インターネット上で行われる国内予選での成績上

位となった日本チームにアジアの国々から参加する約10チームを加えた約50チームが課題を解くプログラムを作成を競います。昨年、つくば大会で上位の成績となり世界大会の出場権を獲得した東京大学、慶應義塾大学、会津大学は、今年5月に米国 Rapid City で行われた世界大会で、東京大学は銅メダルを獲得、他大学も入賞を果たしました。

本年度の国内予選（一次ラウンド）は、7月14日（金）にインターネット上で開催され、12月のアジアつくば大会には43チームが進出しています。

つくば市におけるアジア地区大会開催の経緯は、平成30年につくば市で国際情報オリピックが開催される予定になっていたため、その前哨戦として、平成27年から平成29年までの「国際大学対抗プログラミングアジア大会」を、つくば市で継続して開催することが決定されたことによります。平成27年・28年は、筑波大学がホスト校でした、そして平成29年は、筑波学院大学がホスト校です。このことについて、経営情報学部の高藤清美学部長は、



2016年つくば大会・競技中の様子

「由緒ある大会のホスト校として協力することは非常に光栄であり、日本およびアジアから参加する大学生が、実力を発揮できるように万全を尽くします」と語っています。

情報処理学会で学生が発表

3月16日（木）から18日（土）にかけて名古屋大学で開催された情報処理学会第79回全国大会で、吉田眞澄教授のもとで研究を行っている学生が成果を発表しました。

吉田教授は、筑波学院大学の第一期生から学生が学会で発表できるように指導してきました。今年で9年目になります。これまで、画像処理、CG、知的インタフェース、システム化などの研究分野で23件の論文を発表してきました。さらに、その成果をもとに14名の学生が国立大学の大学院に進学しています。

今年も4月から茨城大学大学院に進学した沼田祐希さんと当時3年生の大野光久さんが「VSMにおけるバーチャルツアー方式」という研究題目で発表しました。ツアーガイドが歩きながら視野に入った建築物の見え方を推定する内容です。特に今回はディスプレイ上の仮想的なガイド



沼田祐希さん(左)と大野光久さん(右)

の歩行動作を力学的エネルギー保存則で表現できるようにしました。この研究はVRにおける3次元空間性と実時間性を追及するという難しいテーマですが、毎年学生達は積極的に専門的な情報技術に挑戦しています。

本学では日々の学習に加えて専門的な研究活動を推進し、大学院への進学を目指す学生を積極的に支援しています。

OCP合同説明会開催

本学の必修科目「実践科目B」（30時間以上の社会参加活動を行うプログラムです）の一環として、4月24日（月）に、合同説明会（マッチングフェス）を開催しました。この合同説明会は今年度で12回目を迎えます。

学生は行政・企業・NPO・財団など35の団体が出展するブースをまわり、自分が今年度に取り組む活動について熱心に検討していました。

今年度も地域の方々との協働を通して学生は大いに社会力を身に付けていくことができよう。



平成29年度 OCP合同説明会

◆2018年度 筑波学院大学 入試日程

■AO入試【予備面談型/作品型】

区分	出願期間（消印有効）	本面談日	合格発表日
5期	10月23日（月）～11月6日（月）	11月12日（日）	11月14日（火）
6期	1月29日（月）～2月13日（火）	2月20日（火）	2月21日（水）
7期	2月26日（月）～3月12日（月）	3月19日（月）	3月20日（火）

■推薦入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	10月16日（月）～10月30日（月）	11月3日（金・祝）	11月6日（月）
B日程	11月27日（月）～12月13日（水）	12月17日（日）	12月19日（火）

■一般入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	1月9日（火）～1月29日（月）	2月4日（日）	2月6日（火）
B日程	2月13日（火）～2月26日（月）	3月5日（月）	3月6日（火）

■センター試験利用入試【大学入試センター試験日：1月14日（土）・15日（日）】

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	1月15日（月）～2月2日（金）	本学独自の 学力審査は ありません	2月14日（水）
B日程	2月13日（火）～2月23日（金）		3月6日（火）
C日程	2月26日（月）～3月9日（金）		3月20日（火）

■私費外国人留学生入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	10月30日（月）～11月13日（月）	11月23日（木・祝）	11月24日（金）
B日程	1月15日（月）～1月29日（月）	2月13日（火）	2月14日（水）
C日程	2月13日（火）～3月2日（金）	3月13日（火）	3月14日（水）

■社会人入試

出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
1月15日（月）～2月2日（金）	2月20日（火）	2月21日（水）

◆オープンキャンパス日程

10月28日（土） 29日（日）	KVA 祭同時開催
12月10日（日）	
3月25日（日）	

◆入試相談会

1月21日（日）
2月25日（日）

（お問い合わせ先）

筑波学院大学 入試広報グループ

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1

TEL. 029-858-4815 FAX. 029-858-7388

URL <http://www.tsukuba-g.ac.jp> E-mail nyushi@tsukuba-g.ac.jp



東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341

東京都千代田区三番町22番地

TEL.03-3262-2255(中学)

TEL.03-3262-2256(高校)

URL <http://www.kasei-gakuin.ed.jp/>

東北・北海道修学旅行

中学3年は、5月17日(水)から5月20日(土)にかけて3泊4日で東北・北海道へ修学旅行を行いました。旅行中は天候にも恵まれ、予定どおり終了することができました。

第1日目南三陸震災学習、被災地で復興に尽力されている方々に取材を行いました。地域への深い

い愛情や未来への強い意思など生徒たちはそれぞれ感じたことを後日発表しました。さんさん商店街の方々の仕事に対する思いをポスターにするこ

とで有意義な時間となりました。
第2日目尊厳寺・函館夜景見学、その土地のガイ

第3日目 ニセコラフ

ティング体験、ニセコを流れる尻別川を5、6名で分乗し、タイミングに合わせてパドルを漕ぎ、仲間同士の一体感を育むプログラムに挑戦しました。水の冷たさ、空の青さ、風の心地よさ、すべてが



大自然の中でラフティング体験

規格外で生徒たちも元気づく活動しました。

第4日目 札幌自主研修、家族や知人へのお土産をたくさん購入しました。

日常生活を離れて、多くの人々と出会った4日間でした。この経験を元に、高校生活でも人とのふれあいを大切にして、自分の人生を切り開いてほしいと思います。

中学1年オリエンテーション旅行

中学1年は、5月19日(金)・20日(土)にオリエンテーション旅行で房総半島に行ってきました。2日間とも天候に恵まれ、鴨川シーワールドの見学や体験学習、レクリエーションなどを予定

どおりに行うことができました。4月に入学した生徒も親睦を深めることができ、打ち解けて学校生活を送っています。今回の旅行で製作した作品などは10月の本校の文化祭にて展示しますので、生徒の元気な様子と併せて見ていただければと思います。

生徒たちの学院生活は始まったばかりで、今後さまざまな場面でお世話になることもあると思いますが、生徒の成長を見守っていただきますようよろしくお願いいたします。



館山市沖ノ島にて撮影した集合写真

高校1年オリエンテーション旅行

ごきげんよう。高校1年は5月19日(金)から20日(土)にかけて、河口湖周辺に行ってきました。旅行初日、まず着いた花の都では、綺麗な花たちが我々を迎えてくれ、自然の美しさを感じました。昼食は郷土食のほうとうを食べ、午後のクラフト体験ではクラフト作製を体験しました。どの班も真剣に作業していました。

2日目はこもり穴探検と飯盒炊爨をしました。飯盒炊爨では飯盒を初めてみる人が多かったようで、楽しそうに火起こしなどに取り組んでいました。

今回の旅行では遅刻や怪我もなく、お互いがしっかり声を掛け合い行動できていました。今後もしも楽しい学院生活を過ごせる予感をさせる素晴らしい旅行でした。

夏休みオーストラリア ホームステイプログラム

毎年夏休みに中学生・高校生の希望者が参加するこのプログラムに、今年も6名の生徒（中学生1名・高校生5名）が参加しました。本校の生徒だけでなく、日本全国から中高生が集まり、グループになって一緒に現地の高校へ通います。今回の滞在先はブリスベン近郊でした。

今回の参加者を代表して高2B組の堀江すずさんと、高2D組の山下寧々さんに感想を聞きました。「※バディはとても優しくして私の英語を聞き取ろうと努力してくれたりと、ゆっくり話してくれたり、日本語で話してくれたこともありました。」（堀江さん）その他に、学校の授業も面白かったようです。「映画の授業や野生動物との触れ合いを通して学ぶ授業がありました。」（山下さん）また、週末には、ホストファミリーと海辺でバーベキューをしたり、バディとショッピングをしたり、有意義な時間を過ごしたようです。



ホストファミリーとの写真 左:山下さん

帰国後は、「英語を勉強することへの抵抗が少なくなりました。素晴らしい体験ができ、世界が広がるので、ぜひ多くの人にホームステイに参加して欲しいです。」（山下さん）、「日本人はとてもシャイなことに気づき、最初は恥ずかしかったけれど、英語が間違っていてよかったと話を



学校の友達との写真 中央:堀江さん (左から3番目)

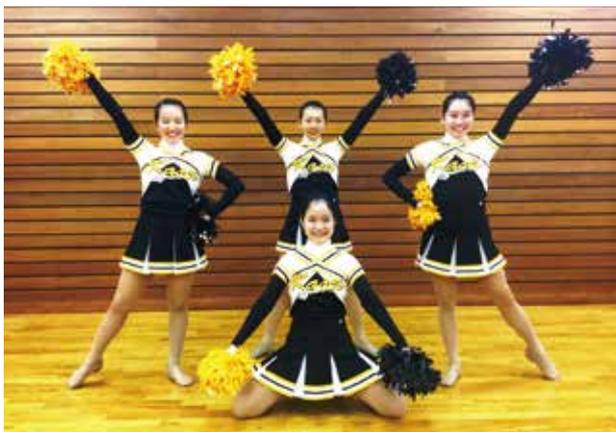
高校ソングリーダー部 全国大会出場へ

ごきげんよう。高校ソングリーダー部です。この度、6月下旬に行われましたミスダンスド

そうという気持ちになりました。」（堀江さん）と自分の中の変化を感じているようです。

※バディとは、現地の学校で、各日本人生徒について、学校生活を共する現地の生徒のことです。

リル選手権大会関東大会において8月の全国大会への出場権を獲得いたしました。ソングリーダー部は全員がダンス初心者ですが、毎日の練習を経て全国大会連続出場の記録を更新しています。



ソングリーダー部 全国大会出場

第七回 牧水・短歌甲子園に出場

練習は厳しいですが、チームの絆は深く、自分への自信につながるクラブです。

現在4名という少人数で活動していますが、大人数にも負けないパワーで演技してきました。今後とも応援宜しくお願いいたします。

ごきげんよう。8月19日（土）から20日（日）にかけて宮崎県の日向市にて行われた「第七回 牧水・短歌甲子園」に、高校2年生3名（内田悠歌・國森恵美夕・古野間百花）が出場しました。

「牧水・短歌甲子園」は、事前に提出した作品によって全国から選ばれた12チームが出場し、本選ではお互いのチームの提出した歌をもとにディベートを行ない勝敗を決めました。審査員の先生は「サラダ記念日」を書かれた俵万智さんをはじめ、豪華なメンバーでした。大会後の交流会では他校の生徒と親睦を深めました。大会では優勝こそ逃したものの、古野間さんが俵万智さんから個人賞をいただきました。

来年に向けてまた練習に励んでいきたいと思えます。



会場となった日向市にて

2018年度 東京家政学院 中学校募集要項(抜粋)

試験日	2月1日(木)		2月2日(金)		2月6日(火)
	午前	午後	午前	午後	午前
募集人数	50名	20名	15名	5名	若干名
集合時間	8:30	15:00	8:30	15:00	8:30
入試形式	①2科・4科選択 ②英語入試 ③適性検査型入試	①2科・4科選択 ④プレゼン入試	①2科・4科選択 ②英語入試	①2科・4科選択 ④プレゼン入試	⑤2科(国語・算数)
	①2科(国語・算数)、4科(国語・算数・社会・理科)の選択				
	②英語・国語、英語・算数の選択				
	③適性検査1(国語読解、作文)、適性検査2(社会・理科の融合)、 適性検査3(算数を中心とした総合問題)				
④面接(自己PR)と学力試験(国語、算数のどちらか1科目を選択)					
時間・配点	①2科:国語・算数(各100点、各45分)、4科:国語・算数(各100点、各45分)社会・理科(各50点、計45分)				
	②英語(筆記試験50点、15分 英語面接50点、5分)、国語または算数(100点、45分)				
	③適性検査1、2、3(各100点、各45分)				
	④自己PR(100点、10分)、国語または算数(100点、45分)				
	⑤国語・算数(各100点、各45分)				
特待生制度	全ての入試において特待生を選抜します。 得点率80%以上…入学金および授業料全額免除 得点率75%以上…入学金および授業料半額免除 得点率70%以上…入学金免除 ※英語入試を受験される方で、英語検定4級以上を取得されている場合、入学金免除となります。				
チャレンジ入試	2科・4科選択受験での合格者を対象に、2月2日午前、午後の2科・4科選択入試において特待チャレンジ入試を行います。				
検定料	20,000円(複数回受験可。ただし適性検査型入試のみ受験の方は4,000円) ※納入された検定料はいかなる理由があっても返還できません。				
出願受付	1月20日(土)から試験当日まで ※Web出願のみとなります。				
合格発表	<午前入試> ◇掲示…入試当日14:00~14:30 ◇HP…入試当日14:00~20:00 <午後入試> ◇掲示…入試翌日9:00~9:30 ◇HP…入試当日21:00~翌日9:00				※時間は変更になる場合があります。
入学手続	合格発表当日~2月7日(水) ※適性検査合格者は2/10(土)まで ※Webでの手続のみとなります。				
手続き時納入金	入学金 200,000円(手続き後、いかなる理由があっても入学金は返還できません。)				
優遇制度	◇第1志望優遇:2/1午前入試受験生に限りです。				
	◇複数回受験待遇:各科目の最高得点の合計を判定点とします。				

2018年度 東京家政学院 高等学校募集要項(抜粋)

1. 推薦入試 推薦入試を希望される方は、事前相談が必要です。

推薦方式	単願推薦	併願推薦
推薦条件	1. 全科目の内申点に 1 が無いこと 2.3年次の欠席日数が7日以内であること(特別な事情がある場合には要相談)	
募集人員	80名	
募集コース	アドバンスコースまたはスタンダードコース	
出願期間	1月16日(火)・1月17日(水) ※Web出願のみとなります	
試験日	1月22日(月)	
合格発表	当日発表	
入学手続	単願推薦 1月22日(月)~23日(火)	併願推薦 1月22日(月)~公立高校前期発表翌日
入学金	200,000円 ※納入された入学金はいかなる理由があっても返還できません。	
検定料	20,000円 ※納入された検定料はいかなる理由があっても返還できません。	

2. 一般入試(併願優遇入試も含む)

入試方式	一般第1回	一般第2回	
募集人員	60名	10名	10名
併願優遇	あり	あり	
募集コース	アドバンスコースまたはスタンダードコース		
出願期間	1月25日(木)~2月6日(火)	1月25日(木)~2月11日(日) ※Web出願のみとなります	
試験日	2月10日(土)	2月12日(月・祝)	
試験	3科目入試	3科目入試	英語優遇入試
	国語・数学・英語	国語・数学・英語	英語・国語 または英語・数学
	(各50分・300点)	(各50分・300点)	(各50分・英語は200点、 国語・数学は100点)
	個人面接(10分程度)		
合格発表	当日発表		
入学手続	2月10日(土)~公立高校前期発表翌日	2月12日(月祝)~公立高校前期発表翌日	
入学金	200,000円 ※納入された入学金はいかなる理由があっても返還できません。		
検定料	20,000円 ※納入された検定料はいかなる理由があっても返還できません。		

ご不明な点はお問い合わせください。

東京家政学院中学校・高等学校 入試事務室

電話 . 03-3262-2559 (入試専用ダイヤル) FAX. 03-3262-2223 ホームページ . <http://www.kasei-gakuin.ed.jp/>



Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人 東京家政学院

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
(代表電話番号) 03-3262-2251

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/>

オリンピック・パラリンピック

そして100周年に向けて

キャンパス・ミュージアム「見遊知会夢」の実現を



学校法人東京家政学院
理事長 沖吉 和祐

東京オリンピック・パラリンピックが、3年後の2020年に開かれます。本学院の2大学は、組織委員会と連携協力協定を締結し、練習場の提供、日本の生活文化の紹介、来訪者のサポートなどを行う計画です。学生・生徒、教職員、同窓生の皆様も、それぞれの持ち味を生かしてボランティアとして活動し、また、日常の場ですり気ないサポートをするなど様々な形でオリンピック・パラリンピックに参加いただけることを期待しています。

本学院の学校は、オリンピックまでの3年間に、それぞれ大きな節目を迎えます。

2018年は、東京家政学院大学の開学55周年、新学部・学科の初年度が始まります。食物系の2つの学科Ⅱ人間栄養学科、食物学科がスタートし、生活デザイン学科は、衣、住、園芸、地域やビジネス、コミュニケーションが学べるようにリニューアル、現代家政学科と児童学科もカリキュラムを改善し、飛躍の第1歩を踏み出す大切な年です。大学院研究科は、社会を牽引する家政学・生活学の中核的な教育・研究機関として再編に着手します。

2019年は、高等学校・中学校開校80年に当たります。中高一貫教育の意義、更に大学と

の連携を基本に据えた改革を進めます。大江スピリッツを発展させるため、「エレガント」に魅力を伝える女性、「スマート」に行動する家庭人、「グローバル」なセンスを備えた社会人を育む教育内容と指導体制を整えたいと考えています。「子供を安心して任せられる」との信頼を得ることにより、生徒の笑顔があふれる学校にしようではありませんか。

2020年、筑波学院大学は開学30年を迎えます。センター・オブ・コミュニティとして「自立」した大学の改革を進めます。まず、大江スミの教育理念Ⅱ国際教養人の育成を目指し、ビジネス、デザイン、マネジメント、コミュニケーション、コミュニケーション、メディアをキーワードに多彩なコースを準備します。更に、地方創成を担う都市型大学として、新学部・学科の設置を視野に入れた組織改編、入試改革、地域に開かれた環境整備を行います。

「東京家政学院が一人一人の人生を豊かにする」、「東京家政学院が社会を変える」、「東京家政学院が世界を結ぶ」。このような学院を、各学校の大きな節目に合わせ、また、6年後の学院創設100周年に向けて、整備していきたいと考えています。

学院を象徴するバラをはじめ四季折々を彩る草花や樹木に囲まれ、学院の歴史や学校の教育成果が散りばめられたキャンパス。学生生徒と地域の人との交流ができる賑わいのスペース、同窓生や住民の皆さんが繰り返し訪れたくなる「楽習」の場Ⅱミュージアム「見遊知会夢」を、皆様と共に実現して参りましょう。

「まちの記憶保存プレート」の設置

平成29年3月30日(木)に、千代田三番町キャンパス正門近くに千代田区の事業の「まちの記憶保存プレート」として「大橋図書館跡」と「明星(みょうじょう)」発祥の地」が設置されました。

「大橋図書館跡」

大橋図書館は、大橋佐平氏の屋敷であった上六番町四四番地(現在地)に建てられた、木造二階建て、書庫はれんが造り三階建てで、明治36年(1903年)には夜間開館し、明治44年(1911)には、館外帯出ができるようし、図書を本格的に収集し、分類目録やカードを作り、司書をおいた、西欧的ライブラリーの第一号でした。



「大橋図書館跡」

「明星(みょうじょう)」発祥の地」

明星(みょうじょう)は、1900年(明治33年)4月から1908年(明治41年)11月まで刊行された、詩歌を中心とする月刊文芸誌です。

同人結社東京新詩社の機関誌として、当時当地で居住していた与謝野鉄幹が主宰となり創刊されました。



「明星発祥の地」

参考資料

(斑目文雄著「江戸東京街の履歴書 番町・九段・麹町あたり」)

(新井巖著「番長麹町「幻の文人町」を歩く」)

東京家政学院

創立100周年記念募金のお願い

学校法人東京家政学院

理事長 沖吉 和祐

学校法人東京家政学院をご支援くださる多くの関係者の皆さまの日頃からのご厚情に心より感謝申し上げます。

本学院は、2023年の創立100周年に向けて、『東京家政学院創立100周年記念募金』を行っております。賜りましたご寄付は教育環境の整備に充て、KVA精神を基礎とした教育・研究活動の充実に邁進してまいります。

皆さまにおかれましては、日頃より幅広いご協力を賜っておりますが、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「東京家政学院創立 90周年 記念募金」の報告

本学院は、平成22年7月から平成27年5月末日までの約5年間にわたり、「東京家政学院創立90周年 記念募金」を実施いたしました。多くの卒業生や教職員の皆さまのご賛同をいただきました。誠に、ありがとうございました。ご芳志で行いました事業の一例をご報告いたします。

今後も引き続き、『東京家政学院創立100周年記念募金』をよろしく願いいたします。

KVA会館の改修
(千代田三番町キャンパス)



KVAショップ(コンビニ)
設置



パソコン機器更新
(筑波学院大学)



キャリアサポートセンター設置
(中・高等学校)



「東京家政学院創立 100 周年記念募金」のご案内

■ 寄付金の募集目的

学校法人東京家政学院は、創立者である大江スミ先生が1923(大正12)年に創設した家政研究所に始まり、2023年に創立100周年を迎えます。千代田三番町、町田、筑波の3つのキャンパスの環境整備を図り、学院全体の改革「新KVAルネサンス計画」に取り組んでいます。

このため、各キャンパスの教育環境整備を進め、さらなる学院の発展を祈念し、「東京家政学院創立100周年記念募金」を開始いたしました。

■ 寄付申込み・支払方法

(1) 寄付申込み

「寄付申込書(個人用)」にご記入の上、募金事務局までお送りください。
(寄付振込用紙は、ホームページからダウンロードできます。)

(2) 支払方法

※ 銀行振込・郵便局振込

「みずほ銀行」または「ゆうちょ銀行」のうち、ご都合の良い金融機関へお振込みください。

※ 振込手数料はご本人様の負担でお願い申し上げます。

みずほ銀行 (0001)	麹町支店(021) 普通預金 1216980 受取人：東京家政学院創立100周年記念募金 [トウキョウカセイガクインツクリツヒャクシュウネンキネンボキネン]
ゆうちょ銀行	記号番号 00150-7-568617 受取人：東京家政学院創立100周年記念募金 [トウキョウカセイガクインツクリツヒャクシュウネンキネンボキネン]

※ 現金による支払

千代田三番町キャンパス1号館1階の窓口にて現金によるご寄付を、お受けいたしております。
事前にご一報いただけますと幸いです。

■ 個人情報の取扱について

ご寄付にあたり、住所、氏名等の個人情報は、寄付金に関する業務に限り使用し、その他の目的で使用することはありません。

■ 寄付金に係る税制上の優遇措置について

個人からの本学院への寄付金は、税制上の優遇処置を受けることができます。

1人あたり2,000円以上の寄付金が税制優遇の対象になります。

< 所得税 > 寄付金に係る税制上の優遇処置には「**所得控除制度**」と「**税額控除制度**」の2つの制度があり、
確定申告の際、寄付者自身がどちらか有利な方を選択できます。

< 住民税 > 東京家政学院を「寄付金税額控除対象法人」として条例で指定している次の地方公共団体にお住まいの方は、
住民税の控除を受けることができます。

【都道府県：東京都、茨城県 市区町村：町田市、つくば市】

所得税の確定申告又は、住所地の市区町村に簡易な申請書による申告を行います。

■ 寄付者芳名の発表について

寄付者の芳名は、寄付者のご同意のもと、学校広報誌「学院だより」等に掲載させていただきます。
芳名の可否については、「寄付申込書」にてご指定ください。

【寄付金に関するお問合せ先】

学校法人東京家政学院 募金事務局 〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地

TEL：03-3262-2242(直通) / FAX：03-3262-2174 / E-mail：bokin@kasei-gakuin.ac.jp

東京家政学院創立100周年記念募金寄付者ご芳名

東京家政学院創立100周年記念募金へのご協力に、厚く御礼申し上げます。ご寄付いただきました皆様への感謝の意を込めまして、ここにご芳名をあげさせていただきます。[平成29年1月～平成29年7月分]

・飯田 弘幸 ・伊藤 博之 ・大木 美輝 ・大木 美沙 ・沖吉 和祐 ・小倉 あか ・片岡 隆志
・軽部 澄江 ・刑部 保美 ・込山 弥彦 ・近 紅 ・佐原 成夫 ・嶋原 正世 ・篠原 紀花
・鈴木 茂 ・高木 みか ・高橋 良子 ・田中 清章 ・利谷 信義 ・中島 百合子 ・中橋 数幸
・新倉 時夫 ・新田 明哲 ・福原 信昭 ・藤江 道子 ・文屋 千枝子 ・古野 美智子 ・三石 善吉
・村野 衣里 ・山本 史華
(敬称略・五十音順)

ほか匿名希望の寄付者21名。

平成29年度
支部長会（評議員会）総会／
懇親会・ジョイント同期会を終えて



光塩会
会長 永山 スミ

残暑もようやくやわらぎ、三番町周辺の本漏れ日は日に日に柔らかさを増して参りました。

6月18日（日）ローズ祭に合わせて開催されたホームカミングデイには20代から90代まで多くの会員の皆様と絆を深めることができ心温まる一日でございました。

母校は心の故郷でございます。これから折に触れどうぞ母校に足をお運びくださいませ。お待ち申し上げております。

光塩会の定例行事支部長会が6月10日（土）千代田三番町キャンパス1号館13110教室で行われました。午前中は茶話会として、支部長の間には理事も交じわり交流を深めました。

午後は各支部の現状報告がなされ、札幌・旭川・函館・釧路の4支部を統合し北海道支部とすることが確認され、町田のセミナーハウスや蓼科山の家の利用等についても話し合いました。

翌11日（日）10時から、アルカディア市ヶ谷（私学会館）にて開催された評議員会では、学院と名簿共用化について話し合いがなされました。現在光塩会では第一回生から5万3千を超える卒業生名簿を有しています。その名簿を共有することとは光塩会を支え発展させてきた諸先輩の意向に沿うのか？様々な討議がなされ、今後の学院と光塩会の発展のためには、双方の協力

が重要と、共用化に合意がなされました。

総会では、平成28年度の事業・会計報告、29年度の事業計画案と予算案は滞りなく了承されました。また、会員の皆様に、昨年イギリスで発行された「日英偉人伝」に掲載された創立者大江スミ先生の足跡（英文）の和訳を中心に編集された90周年記念誌『大江スミと日本の家政学』を紹介いたしました。

懇親会では懐かしい皆様との会食の後、宮城支部長・阿部悠貴子様とのシャンソンの歌声で、優雅なひと時を過ごすことができました。

なお、10月28日（土）、29日（日）筑波・11月11日（土）、12日（日）町田の両KV A祭、年明の歌舞伎鑑賞会・プリザーブドフラワー講習会（同封のご案内参照）に、是非ご参加くださいませ。



ローズ祭に合わせて開催されたホームカミングデイの様子

☆ 光塩会事務室からのお知らせ ☆

● 光塩会90周年記念誌

『大江スミと日本における家政学』
英国に派遣された国費留学生の足跡



2016年10月発行
2015年英国で発刊された論文の和訳を中心に編集
光塩会事務室にて発売中

※ご希望の方は光塩会事務室へお問い合わせくださいませ。

（制作費用にご協力をお願いします。）

● 創立者大江スミ先生

関連資料部からのお願い



専門 22回卒業生のご家族の所有品です。こちらの校章についてご存知の方は光塩会事務室にご連絡をお願いします。

【お問い合わせ先・ご連絡先】

光塩会事務室 03-3265-3646



あづま会
会長 澤田 三和子

皆様ごきげんよう

今年も総会の頃よりお天気の変化が大きく、思いがけない雨での大きな災害もありましたが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしたでしょうか。

総会では、平成28年度の会務・決算報告とともに、平成29年度会務・予算案を承認いただきましたことをここに報告いたします。

今年もご多忙な沖吉理事長には、総会の折に、佐原常務理事、長尾校長先生には、懇親会の折にご挨拶をいただき、これからの活動の励みになりました。

伴野教頭先生、原澤光塩会副会長にもご出席いただき、アトラクションなどで楽しく和やかなひとときを過ごしました。

今回の学年会は、昭和41年、51年、61年、卒業の方々で、それぞれの幹事の皆様にご協力をいただきました。私も昭和41年卒で、多くの方々と共に昔話に花が咲きました。無事に学年会ができました、楽しいひと時でした。

この春にご卒業の、新会員3名の方々もご参加いただきあづま会の雰囲気味わっていただきました。

おかげさまで盛会に終わりましたことを嬉しく思っております。

役員紹介

(前列左から)

- ・澤田 三和子会長
- ・十河 由香
- ・府中 ひとみ
- (後列左から)
- ・田宮 知子
- ・齊藤 節子
- ・堀部 みどり
- ・六鹿 清美
- ・石川 直子
- ・森 洋子
- 欠席者 堀内 芳枝



平成29年5月28日(日)総会・懇談会にて

～ あづま会からのお知らせ ～

平成29年 第53回常磐祭文化祭に参加いたします。

日時：10月8日(日)、9日(月・祝) 10:00～15:00

会場：中学校校舎 2号館2階



あづま会の部屋では、

- ・卒業生の作品展示
- ・大江スミ先生と学校の歴史
- ・旧制服の展示
- ・卒業アルバムの展示
- ・手作り品や雑貨の販売(校章をモチーフにしたポーチ、クリスマスオーナメントなど)※1
- ・講習会(8日はクリスマスリース・9日は江戸型彫りを使って来年の干支の年賀状)※2
- ・あづま会オリジナルグッズ販売

皆様にお立ち寄りいただけるようお茶とお菓子を用意してお待ちしております。そして在校生の活躍をご覧いただき卒業生として母校を応援してください。

「二人一人が認められ、大切にされること」

東京家政学院大学 家政学部 児童学科 卒業
藤中 彩加

私は、平成24年4月から東京都の小学校教諭として働き始めました。1年生から4年生まで担任として持ち上がり、学級経営・学習指導を行ってきました。その中で、集団行動やコミュニケーションがうまくとれなかったり、発達に遅れがみられたりする児童に対して、教育の難しさを感じていました。様々な立場の方からご指導をいただきながら指導方法を工夫してみましたが、一筋縄ではないかなと感じていました。自らの授業力を高めるためにも、私はもっと二人一人のニーズに合わせた教育について学びたいと思いました。

そこで、私は特別支援学校を希望し、平成28年4月から東京都立小児総合医療センター内にある院内学級に異動しました。様々な背景や課題を抱える子供たち一人一人の気持ちと向き合い、言動の裏に隠れている本当の気持ちを上手に汲み取る教員の姿を見て、私は衝撃を受けました。また、学習教材も一人一人の特性や病状に合わせて工夫され、全員が安心して自

分のペースで学習できる環境が整っていました。個々の力が、褒められ・認められる機会が多くあり、それが自信となって大きく変容が見られた子供もいました。葛藤したり、時に休んだりしながらも、どの子供も成長しようとしています。私は、特別支援教育に携わったことで教育の視野が広がったと実感しています。これから、気持ちを受け止め共に学びながら、教員として成長し続けたいと思います。



分教室の休み時間の様子

プロフィール

氏名 藤中 彩加
(ふじなか あやか)
平成24年3月
東京家政学院大学
家政学部
児童学科 卒業
平成24年4月
東京都内の小学校に勤務
平成28年4月
都立武蔵台学園
府中分教室(院内学級)に
勤務

研究室
紹介55

東京家政学院大学

現代家政学科 消費者情報・消費者教育研究室

小野 由美子

私たち消費者は毎日、モノやサービスにお金を支払いながら生活しています。消費者として生きていくためには知識や技術に加え、気づき(センス)や心がけ(マインド)も大切です。消費者教育とは、消費者として学ぶべきものは何かを常に問い続ける実践・学問領域であり、ゼミでは広く関連する情報収集や体験を深めるための取り組みをしています。毎年、東京都消費生活総合センターに出かけて、若者に多い悪質



東京都消費生活総合センターでの講義

ワークショップを開催しました。毎年、日本消費者教育学会と国民生活センターが主催する「消費者教育学生セミナー」にも参加して、全国から集う他大学の学生との交流をしながら学んでいます。後期になると、卒業論文について本格的な個別指導とゼミ全体での発表が繰り返されていきます。

商法と対処方法について消費者啓発員の方から講義を受けたたり、図書資料室ではそれぞれの卒業研究テーマに関する書籍を閲覧します。今年のローズ祭では「来て！見て！学ぼう！消費者教育」と題して、ゼミ生がフェアトレード(原料などを適正な価格で継続的に購入して、立場の弱い生産者の生活改善を目指す取引)をテーマに



ワークショップの打ち合わせの様子

悪質な事業者に「だまされない」ための勉強ではなく、今ある消費社会のあり方を様々な視点から検討を重ねることを大切にしています。